

互山

新宿区立 戸山小学校

みえないものを大切に

校長 百合野 壽郎

私の両親の故郷の学校に、大きな石碑が立っています。そこには『みえないものを大切に』と書かれています。

「みえないもの」とは、皆さんは何のことだと思いますか。残念ながら、この碑文に書かれた内容の由来は分からずじまいなのですが、私は二つの意味があると考えています。

一つ目は、「そこに自分がいないから みえないもの」です。つまり、自分がその場にいることができないから見えない。けれども、見えない場所で自分のために頑張ってくれている人達がいるということです。一番身近な人でいうと家族です。例えば子ども達が学校で学んでいる時でも、家で洗濯や掃除をしてくれている人、仕事場で一生懸命働いてくれている人がいます。毎日食べている給食も、普段作っている人達を見ることはありません。ましてや、農家や漁師の人達など、食材を取ったり作ったりしている人達の様子はなかなか見えないものです。このように見えないところで、みんなのために働いてくれている人が大勢います。「みえないものを大切に」の一つは、『感謝をする気持ちをもつことを大切に』するということです。

二つ目は、「そこに自分がいても みえないもの」です。人は毎日たくさんの人達と出会い、関わり合いながら生活をしています。しかしながら、目の前にいる相手が、どんな思いでいるのか、何を考えているのかは、よほど親しい間柄の人でも、なかなか分からないものです。だからこそ、いつも相手のことを思いやって過ごすことが大切なのです。人はそれぞれ、年齢や経験に応じて、相手のことを大切に思うことができるようになります。みんなが相手のこと、周りのことを思うことで、一人ひとりが気持ちよく過ごすことができるようになるのです。「みえないものを大切に」の二つ目は、『思いやりの心をもつことを大切に』するということです。

この「感謝の心」と「思いやりの心」の二つの目に見えないものを大切にする人に育ってほしいという願いで、石碑が建てられたものと考えています。

時代や場所こそ違え、その願いは、現在の日本中の学校の共通の願いでもあります。戸山小学校の子ども達が、「みえないもの」を意識し、大切にする子ども達であるように、教職員一同一丸となって、教育に取り組んでまいります。ご協力の程、よろしくお願いたします。

10月7日(月)に道徳授業地区公開講座が行われます。今年は元全国小学校道徳教育研究会会長として、道徳教育の推進・充実に寄与されてきた“元千代田区立麴町小学校校長 荻原 武雄先生”のご講演を予定しています。

多くの皆様のご来校をお待ちしております。

学年の窓 3年

音楽朝会、学習発表会にむけて

3年生は、目下音楽朝会と学習発表会の練習に励んでいます。明日の音楽朝会では、美しい音色と歌声を披露したいと思います。

音楽では、3年生になって、器楽で初めてリコーダーを習いました。1学期から少しずつ、タンギングを覚えてきました。練習では、音がなかなか揃わなかったものの、少しずつリズムカルに演奏できるようになりました。歌は、音程やリズムを正しく、曲想豊かに表現できるように歌うことを目指します。表現という観点では、他にも美しい姿勢と心をもって、見えるものと見えないものを大事に指導していき、品格を育てていきます。行事を通して、子ども達は、心をついに合わせることの大切さを実感し、一人一人着実に成長していきます。技術的には、まだ、未熟な部分もあると思いますが、何事も高みを目指して、チャレンジ精神で頑張る3年生に温かい励ましと応援をよろしくお願致します。



個人面談のお知らせ

個人面談があります。日程は10月10日(木)、11日(金)、15日(火)、25日(金)、31日(木)の5日間です。よろしくお願いたします。